

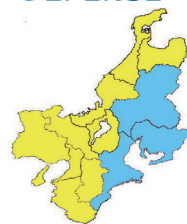
近畿中部防衛局広報誌 経ヶ岬通信所だより

KCS Newsletter

Newsletter from Kyogamisaki Communications Site



防衛省
MINISTRY OF
DEFENSE



近畿中部防衛局管内図
青色部分（東海支局管内）
2府7県の防衛に関する情報誌

2026
No.19

丹後松島《京丹後市丹後町此代》写真提供：京丹後市観光公社



きんちゅうくん

近畿中部防衛局について

地域社会との架け橋に

近畿中部防衛局は、自衛隊及び在日米軍が使用する防衛施設の整備・管理、安定的な使用の確保、防衛施設周辺住民の生活福祉向上、地域住民と在日米軍との交流行事の実施など、幅広い業務を行っています。

周辺地域の皆様と自衛隊及び在日米軍との架け橋として、防衛行政への一層のご理解とご協力を得られるよう全力で取り組んでまいります。



防衛省と地域社会との
協力を象徴するエンブレム



第44回安全・安心対策連絡会を開催

近畿中部防衛局は、令和8年6月5日（金）、第44回となる米軍経ヶ岬通信所の設置に係る安全・安心対策連絡会を京丹後市役所（峰山庁舎）において開催しました。

この連絡会では、交通安全講習会、水質調査の結果、フェンスの移設工事といったトピックのほか、日米交流ビーチボールバレー大会や海岸清掃などの地域との交流、まちづくりへの支援などについて、京丹後市、京都府、地域住民代表の方々にご説明を行いました。



近畿中部防衛局からの説明



米陸軍経ヶ岬通信所司令からの挨拶

※本連絡会の配布資料については、当局ホームページに掲載しております。

第29回交通安全講習会（令和8年6月4日）

近畿中部防衛局交通安全対策推進チームは、令和8年6月4日（木）、旧宇川中学校を会場として、京都府警察本部及び京丹後警察署にご協力いただき、米軍経ヶ岬通信所に勤務する米軍関係者を対象とした交通安全講習会を開催しました。

今回の講習会では、日本の交通ルール、マナー及び令和8年4月の道路交通法改正内容等に関する座学講習、並びに、狭隘コースでの車両方向転換練習、道路交通法改正内容の実演練習として自転車追抜時の車両間隔習得練習等の実車講習を実施しました。



座学講座



狭路での方向転換練習①



狭路での方向転換練習②



小型モビリティ運転体験



自転車追抜時の車両間隔習得練習①



自転車追抜時の車両間隔習得練習②





米軍経ヶ岬通信所周辺海域の水質調査について

(※第44回安全・安心対策連絡会で説明)

近畿中部防衛局は、米軍経ヶ岬通信所の浄化槽において処理された水が、直下の海域に排出されることから、周辺海域の海水の水質に変化が生じていないかを確認するために、専門機関に委託して水質調査を実施しています。

この調査は、地域住民の安全・安心に寄与するように、地元のご要望を踏まえて継続的に実施しているもので、令和7年12月に行った浄化槽設置後6回目の調査では、CODと全燐の2項目において基準値を超過する結果になりましたが、それ以外の7項目については基準値内となっております。

専門機関からは、「京都府公共用水域水質測定結果によると、竹野川沖、久美浜沖などの周辺海域等においても環境基準が達成・未達成を繰り返している状況と報告されていること」、「CODと全燐以外の項目は、基準値内となっていること」を踏まえれば、米軍経ヶ岬通信所の浄化槽からの排水による水質悪化の傾向は見られないとの見解が示されています。

なお、米軍の浄化槽については、隣接する航空自衛隊基地と同様の仕様で、日本の環境基準に適合することを前提として製作された日本製であり、浄化槽法の規定と同様の保守・点検が実施されており、定期検査結果は国内基準を満たしていると聞いております。

調査項目	環境基準値	令和6年度 (R6.12.2 浄化槽運用開始後5回目)			令和7年度 (R7.12.2 浄化槽運用開始後6回目)		
		尾和	袖志西側	袖志東側	尾和	袖志西側	袖志東側
pH	7.8～8.3	8.2	8.2	8.2	8.1	8.1	8.2
COD	2mg/L 以下	1.9	1.8	1.7	<u>2.6</u>	<u>2.1</u>	<u>2.6</u>
DO	7.5mg/L 以上	8.7	8.9	9.6	7.5	7.5	7.6
n-ヘキサン	検出されないこと。	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
大腸菌	300CFU/100m l 以下	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
全窒素	0.3mg/L 以下 (※1)	0.24	0.18	0.18	0.10	0.08	0.07
全燐	0.03mg/L 以下 (※1)	0.016	0.013	0.013	<u>0.059</u>	<u>0.036</u>	0.019
BOD	2mg/L 以下 (※2)	不検出	0.8	不検出	0.8	0.8	0.8
SS	25mg/L 以下 (※2)	不検出	不検出	1	不検出	1	1

注1 環境基準値は、生活環境の保全に関する環境基準（海域）のA類型を示す。

2 不検出とは、定量下限値未満をいう。（定量下限値：n-ヘキサン 0.5mg/L、大腸菌 1CFU/100mL、BOD 0.5mg/L、SS 1mg/L）

※1 全窒素、全燐については、海域基準のII類型を準用している（通信所周辺海域は類型指定されていない）。

2 BOD、SSについては、河川基準のA類型を準用している（海域については定めがない）。

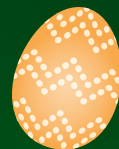
▲ 連絡会において配付した説明資料（抜粋）





Easter egg hunt !!

イースターエッグハントを開催



京丹後市峰山町の丹後文化会館にて 4 月 4 日、京丹後市国際交流協会と米陸軍第 1 4 ミサイル防衛中隊・経ヶ岬通信所が共催のイースターエッグハントが行われ、100名を超える地域の子供たちが参加しました。イースター（復活祭）はアメリカではクリスマスと並ぶ重要な行事の一つです。米陸軍経ヶ岬通信所は地域の皆さまにアメリカ文化を紹介し英語に触れる機会を提供するために京丹後市国際交流協会と協力してイベントを開催してまいりました。



イベントは、強い風が吹く春の嵐に見舞われたため、前半のアクティビティは室内、後半のエッグハントは屋外で行われました。参加者は卵のカプセルにシールを貼ってデコレーションしたり、卵のカプセルをスプーンに乗せて走る速さを競ったり、ネイティブによるイースターにちなんだ絵本の読み聞かせや大柄で太い腕の兵士に挑戦する腕相撲などのステーションを楽しみました。その日のハイライトはイースターの定番である「エッグハント」。卵のカプセルにキャンディーや「アルファベットを全部言ってみよう」「イースターバニーとグータッチしてみよう」などのミッションが入った紙が入っており、イースターバニーの「3、2、1、GO！」の合図で子供たちはいっせいに駆け出して卵のカプセルを競うように拾いました。





「たくさんの子供たちと交流することができてとても幸せです。」と話すのは、今回のイベントの企画を担当したヴェラスコ3等軍曹です。「イースターはいつも家族と一緒に過ごしてきましたが今年はそれが叶わず、少し寂しく感じていました。でも赴任先のしかも異国の地でこんなに楽しいイースターを過ごすことができるのは予想していなかったので参加して下さった皆さんには感謝の気持ちでいっぱいです。」

経ヶ岬に配属された兵士は普段は基地の中で勤務し、あまり外に出る機会はありません。このようなイベントは兵士たちが基地の外に出かけて地元の方々と交流し、日本の文化や社会に触れて視野を広げる貴重な機会でもあります。「私たちは地域の一員として貢献できることに喜びを感じています。お役に立てるなら何でもやりたいと思っています。」とヴェラスコ3等軍曹は語りました。



京丹後市内各地の海岸清掃に参加しました。



3月15日 タロケ浦海岸
(京丹後市網野町)



4月18日 遊地区
(京丹後市網野町)



4月26日 箱石浜
(京丹後市久美浜町)



5月10日 小浜
(京丹後市網野町)



5月23日 箱石浜
(京丹後市久美浜町)





護衛艦「みょうこう」において再任用式を実施

14ミサイル防衛中隊は4月28日、海上自衛隊第3水上戦群(舞鶴)護衛艦「みょうこう」(艦長:岩井 1等海佐)艦上にて家族、友人、パートナーの立会いの下マデラ2等軍曹、ディベラルディノ3等軍曹の再任用式を執り行いました。パートナーと一緒に再任用を祝う特別な機会となりました。再任用式の後には艦内を見学する機会に恵まれました。「みょうこう」艦長 岩井 1等海佐をはじめとする皆さまの継続的なパートナーシップと友情に心より感謝申し上げます。海上自衛隊は「日本の空を守る」という任務に従事するパートナーであり、私たちは共通の任務の下、地域において極めて重要な役割を果たしています。



マデラ2等軍曹 再任用式



ディベラルディノ3等軍曹 再任用式



艦内見学をする第14ミサイル防衛
中隊兵士



艦内見学をする第14ミサイル防衛
中隊兵士



護衛艦みょうこうの海上自衛隊員
と記念写真

京丹後市丹後町平海岸において昇任式を実施

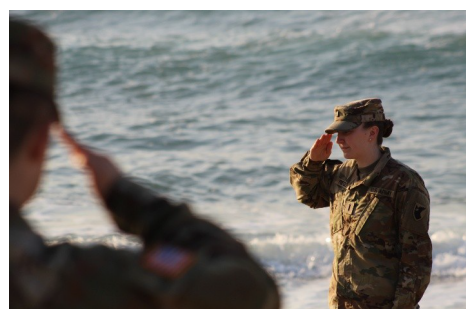
第38防空砲兵旅団は5月15日、リーグラー中尉の昇任式(少尉より)を執り行いました。リーダー小隊長として、彼女の専門知識、リーダーシップ、そして献身は、私たちの任務の成功にとって不可欠なものです。この素晴らしい功績を残したリーグラー中尉に是非お祝いの言葉をお願いします。



リーグラー中尉の昇任式



リーグラー中尉の昇任式



リーグラー中尉の昇任式





日本文化の探求（船釣り）



第14ミサイル防衛中隊チームは5月16日、日本海丹後半島沖での船釣りという特別な経験をしました。早朝に漁港を出発した一行は、青い海と美しい山々の景色を楽しみながら漁場に到着。潮風を感じながら糸を垂らしていると、大きな鯛が次々と釣れて船上は歓声と興奮に包まれました。特に、赤く輝く立派な鯛を抱えた瞬間はまるで夢のようでした。

澄んだ空気、青い海、緑豊かな山々は都会では味わえない経験で、一行は丹後半島の素晴らしさに改めて心を奪われました。港に戻った後は、刺身・手巻き寿司といった和食やアクアパッツァ・ソテーなど鯛料理を満喫。釣りを通して日本の自然と食文化の豊かさ、そして人々の温かさに触れることができました。



近畿中部防衛局からのお知らせ

米軍関係者との交通事故で被害を受けられた方へ

近畿中部防衛局は、日米地位協定に基づき、米軍関係者（軍人・軍属等）の行為（交通事故や器物破損など）により被害を受けられた方々への損害賠償業務※を行っております。

米軍関係者との交通事故で被害を受けられた場合、必ず最寄りの警察署に届けていただくとともに、次の連絡先のいずれかにお知らせください。

当局は、「交通安全対策推進チーム」を結成し、被害者の方からのお知らせがあれば、米側との間に立って調整をするなど、できる限りのお手伝いを行っています。

お困りのことがありましたら、どのようなことでも結構ですのでご相談ください。

※日米地位協定第18条第5項及び第6項に基づく損害賠償業務

【連絡先：交通安全対策推進チーム】

○近畿中部防衛局 企画部業務課

06-6945-4964（平日 8:30～17:15）

070-4099-9287または 070-4099-9285（夜間及び休日）

○近畿中部防衛局京丹後現地連絡所

0772-76-9070（平日 8:30～17:15）





小型無人機等飛行禁止法の改正について

本年6月、小型無人機（いわゆるドローン）の飛行速度等性能の飛躍的向上や普及に加え、小型無人機を悪用した重大事案の発生が懸念される中、重要施設に対する危険の未然防止に万全を期する必要があるといった背景から、重要施設の周辺地域の上空における小型無人機等の飛行の禁止に関する法律が改正されました（7月14日施行）。

この改正に伴い、その上空において小型無人機等の飛行が禁止される地域が「対象施設の敷地又は区域及びその周囲おおむね千メートルの地域」となりました。

米軍経ヶ岬通信所および航空自衛隊経ヶ岬分屯基地周辺地域（下図の黄色線内の区域）の上空で小型無人機等の飛行させようとする場合には、所定の手続きが必要となります。詳細については、防衛省HPでも案内しておりますが、ご不明な点等ございましたら、下記連絡先までお問い合わせください。

<連絡先（米軍経ヶ岬通信所関係）>

近畿中部防衛局地方調整課 TEL.06-6945-4956

<連絡先（航空自衛隊経ヶ岬分屯基地関係）>

航空自衛隊経ヶ岬分屯基地 TEL.0772-76-0631

メール：kyopub4301@inet.aci.mod.go.jp

航空自衛隊経ヶ岬分屯基地周辺でのドローン飛行については以下でもご案内中

<https://www.mod.go.jp/asdf/kyouga/second/third/drone.html>

手続きの詳細は
防衛省HPへ



地理院地図（電子国土Web）より抜粋

■ご意見・ご感想等はこちらまで

〒540-0008 大阪市中央区大手前4丁目1-67 近畿中部防衛局 広報編集委員会（報道官気付）

TEL：06-6945-4953

e-mail：goiken-kc@ext.kinchu.rdb.mod.go.jp



近畿中部防衛局からの発信



ホームページ



公式 X
(旧 Twitter)



広報誌
バックナンバー



米陸軍経ヶ岬通信所からの発信



フェイスブック



インスタグラム

KINKI CHUBU

2026年 通算102号
令和8年8月発行
近畿中部防衛局
広報編集委員会

リサイクル適性 (A)

この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。

